



五分館だより

第33号

豊丘公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日

H11. 4. 1 現在
戸数 91戸
人口 386人

区委員視察研修

三重県阿山町

「モクモク手づくりファーム」へ

挑戦してみること

は楽しい。楽しさは

がその会社を上昇

させる。

二月二十一日より、一泊二日の日程で、三重県阿山

町にある全国で二番目に大きい農事組合法人「モクモク手づくりファーム」へ視察研修と冬の京都観光に行ってきた。モクモクファームは八十七年の設立で当初一億四千万の売上げが昨年約二十九億になり十九人だった従業員は二〇〇人になった。拓いた山の斜面十ヘクタールの敷地に十棟のログ

ハウスから始めた様です。今から十一年前、現在、社長の木村さんと、専務の吉田さんの二人は、伊賀地方の養豚農家の人たちは自分たちが育てた豚の肉がどんな味で、どこで売られ、どのような人に食べてもらっているかをまったく知らなかった。「生産者と消費者の間には、たぐくコミュニケーションがないなんて。これが今の日本の農業の問題なんだ」と痛感し、地元で養豚農家と共に「伊賀の豚」のブランド化を目指し、生産者の名前をパッケージに明記し販売したら「安心感がある、おいしい」と評判になり「伊賀の豚」とい

う肉の認知度が高まり、消費者に生産者を知ってもらうことの重要さに確信をもち農家は生産者だけでなく肉を加工し、販売まで自分たちの手でやろうと言う事になった。又、名前のモクモクは、ハムを燻製する煙がモクモク、伊賀の里は忍者の煙でモクモクと二人の遊び心からついたとの事です。現在は、ハム・ソーセージ・パン・パスタ・地ビール・菓子などを加工、販売をしている。「挑戦してみるのは楽しい、楽しさがその会社を上昇させていくのだと思う」と木村さんは言ってくれた。堀越茸観光とは合わない所があるが地域興しとして見れば大変参考になったと思います。二日目は、東寺、金閣寺、清水寺を見学、冬の京都を後に全員無事帰宅しました。

田島康嘉

山間地区交流会開催

山間地区交流会が毎年この時期に開催されており、本年は堀越区が当番地区となり、この三月十四日に区民会館で開催されました。

毎年各地区の抱えている問題を取り纏め、村当局に陳情や要望事項として区長会を通し申し入れて行く事をしていきます。本年は次の事が取り纏められました。

- 一、中央横断線の改良について 長沢部落
- 長沢、堀越両地区で継続して研究し、時機を見て陳情をして行く。
- 一、村外からの居住者へ各区の申し合わせ事項を履行してもらう検討会について 福島区
- 区長会等で検討して行く事とする。
- 一、防犯等の電気料負担軽減

減について。 壬生沢区 三割程度を村で見てもらえる様に区長会に提案し進めて行く。

一、松くい虫の早期防除対策について 壬生沢区 一定の地域を指定する中で空中防除を進めてもらいたい旨陳情して行く。

一、研究課題として。 抹役のあり方、地元負担金の扱い、行政から地区へ降ろされる業務の軽減について検討し、陳情できる物は進めて行く。堀越区 以上のような問題が提起されました。過去の記録をひもといてみますと、昭和五十三年には「税外負担の問題」『除雪に関する問題』が提案されており、このことはほとんど毎年延々本年まで続いている問題です。

まとめありあったお別れ会

堀越青少年育成会

本年度最後の育成会の行事であるお別れ会が、二十一日春分の日に九時より、区民会館で行われました。この時期にはめずらしい昨日からの雪で、午前中予定していたゴミ拾いを中止し、小学一～五年生と小中卒業

生、小学校PTA新旧役員の方には、区民会館の中外のトイレのそうじをしてもらいました。その間に、中学一・二年生と中学校PTA新旧役員とで、お昼の会食の準備をしました。メニューは、以前子供たちで

話し合っって決めたチャーハンとマカロニポテトサラダ、フルーチェです。約八十人分の材料を用意し、大人に教えてもらいながら、少しでも子供たちの手で作って行く様にしました。男の役員の方には、外にご飯を炒めるためのガスコンロと鉄板を用意して頂き、上手にチャーハンが出来上がりました。十一時過ぎには、きれいにテーブルが用意され

た体育館に全員が集まって、各々持って来た食器に料理をよそい、会食が始まりました。食べ終わった後、ピングゲームで盛り上がり、続いて卒業生に記念品が渡され、一人一人からお礼の言葉が有りました。そして全員が協力し、後片づけをしました。

外はあいにくのお天気でしたが、保育園から中学校の子供たちが一堂に会して

出来たお別れ会は成功に終わりました。また、育成会の三役が、公民館から小中PTAに移った初めての年で、いろいろと御苦労があったと思います。しかし、一年間何事もなく無事終えられた事はとても良かったと思います。

堀本志乃 北林 弘

平成10年度 豊丘村公民館 第五分館 決算書

収入計金 1,630,815 円
 支出計金 1,358,412 円
 差引残金 272,403 円

収入の部

項目	10年度決算額	10年度予算額	差引増減	備考
前年度繰越金	232,462	232,462	0	
区より助成金	800,000	800,000	0	
本館より助成金	448,000	448,000	0	戸数×500円
本館事業助成金	100,000	100,000	0	納涼大会
本館事業助成金	50,000	50,000	0	文化祭
本館事業助成金	0	0	0	運動会
貯金利息	353	538	▲185	
収入の部計金	1,630,815	1,631,000	▲185	

支出の部

項目	10年度決算額	10年度予算額	差引増減	備考
地域美化運動	19,323	20,000	▲677	
部落対抗球技大会	151,332	150,000	1,332	
納涼大会	157,677	160,000	▲2,323	
各種大会参加費	50,000	100,000	▲50,000	
文化・学習活動費	23,593	60,000	▲36,407	
分館交流会	21,955	30,000	▲8,045	第一分館との交流会
育成会助成金	75,000	75,000	0	
分館だより制作費	50,163	50,000	163	コピー機使用
グループ活動助成金	165,000	170,000	▲5,000	
ボーリング大会	0	60,000	▲60,000	
堀越文化祭	67,659	100,000	▲32,341	
区民運動会	0	0	0	
備品購入費	48,758	50,000	▲1,242	ソフトバレー用ネット、他
会議・事務費	57,786	70,000	▲12,214	
役員手当	392,000	392,000	0	
役員反省会費	22,871	28,000	▲5,129	
保険	51,200	60,000	▲8,800	
予備費	4,095	56,000	▲51,905	
支出の部計金	1,358,412	1,631,000	▲272,588	

平成11年度 豊丘村公民館 第五分館 予算書

収入計金 1,911,000円
 支出計金 1,911,000円
 差引合計 0円

収入の部

項目	11年度予算額	10年度予算額	差引増減	備考
前年度繰越金	272,403	232,462	39,941	
区より助成金	970,000	800,000	170,000	
本館より助成金	448,000	448,000	0	戸数 96戸
本館事業助成金	100,000	100,000	0	納涼大会
本館事業助成金	0	50,000	▲50,000	文化祭
本館事業助成金	120,000	0	120,000	運動会
貯金利息	597	538	59	
収入の部計金	1,911,000	1,631,000	280,000	

支出の部

項目	11年度予算額	10年度予算額	差引増減	備考
地域美化運動	25,000	20,000	5,000	
部落対抗球技大会	160,000	150,000	10,000	
納涼大会	170,000	160,000	10,000	
各種大会参加費	100,000	100,000	0	
文化・学習活動費	60,000	60,000	0	
分館交流会	0	30,000	▲30,000	
育成会助成金	80,000	75,000	5,000	
分館だより制作費	50,000	50,000	0	コピー機使用
グループ活動助成金	180,000	170,000	10,000	
ボーリング大会	0	60,000	▲60,000	
堀越文化祭	0	100,000	▲100,000	
区民運動会	450,000	0	450,000	
備品購入費	50,000	50,000	0	投光器他
会議・事務費	70,000	70,000	0	
役員手当	392,000	392,000	0	
役員反省会費	30,000	28,000	2,000	
保険	60,000	60,000	0	
予備費	34,000	56,000	▲22,000	
支出の部計金	1,911,000	1,631,000	280,000	

道路際はゴミの山

去る3月7日に分館としては初めての黒谷線、広域農道沿いのアキ缶拾いを行った。ゴミの多さに役員一同ア然とした。

三月七日に公民館役員で各所に設置してある空き缶入れの片付けと黒谷線沿いの空き缶拾いを午後一時から行いました。あいにくの雨で合羽を着ての作業となりました。三組に分かれ、堀割から駒沢、駒沢から広域農道、広域農道下の分担で進めて行きました。雪も雑草も無い為あちらこちらに投げ捨てられている瓶や缶が余計に目立ちました。黒谷線沿いの道路下まで下っ

て行くと、買い物袋にまめられて捨ててある物や地中に埋められている物など沢山あり、二時間ほどで軽トラック五台分程の空き缶、空き瓶等が集まりました。道路から見えてはいるが拾いに行けなかった物がまだ沢山ありました。缶瓶以外にも、靴、鞆、バッテリー、おもちゃ、タイヤ、建設資材、自動車部品等色々な物が捨てられていました。

普段黒谷線を通りますが、道路下を眺める事は無いので、道路下が空き缶、空き瓶等のごみの山になっていくことを今回の空き缶拾いで実感しました。見えない場所にごみを投げ捨てるのでみんなが少しぐらいならと思っているのかもしれない。堀越の自然、景観を守るために一人ひとりが気を付けていかなければと考

越野信義

平成10年度事業に御協力いただきまして大変ありがとうございました。

11年度は秋に区民運動会を計画致しております。昨年同様引き続き御協力の程お願い致します。

第五分館 分館長 堀本明一



今年こそはと、景気回復を願いつつ未だにその兆しが見えない中で、春闘交渉についての報道、ベアゼロ、一時金も過去最低、各社賃金は大幅に下回る等々、先行き見えない新聞の記事、もう飽き飽きした。一体全体いつになったら、明るい話しが聞こえて来るのか待ちどおしい。そんな中、配布された地域振興券に喜んだ子供達、息子等の扶養になっっているがために、もらえずがっかりしているお年寄りの人達、複雑な気持ちである。果たしてこんな事で、景気が上向いて来るのだろうか。少し不安と疑問が残る。

先日の黒谷線道路脇のゴミ拾い、想像もつかない物まで捨てられてありびっくりした。茸山に空缶一つでも放置してあれば、茸の出る環境が変わるとまで言われている。一人一人の心がけが大切であると思う。

不景気、環境汚染という言葉葉を打ち消すかの様に、野に山に息吹が感じられる季節となり、桜の花ももうすぐ見られ心を和ませてくれる事でしょう。農作業にも一段と拍車がかかりそうですが、体には充分気を付けたいものです。

武田光枝